

で市役所内に設置することも考えている。

市役所の駐車スペースの確保について

問 市役所駐車場混雑時に近隣他施設の駐車場を共同利用してはどうか。

答 平日に会議等が重なるときについては、近隣の市民体育センター駐車場の利用を案内することを検討したい。

大場康議（自民党市議団）

運動サポートセンターの現状と今後について

問 センターの利用状況と今後の利用促進策は。

答 平成29年11月から30年5月までの利用者数は、延べ2572人である。土、月曜日の利用と50代以下の利用が少ない傾向があるので、市内の企業等に出向き、周知と利用勧奨を行っている。また、特定健診結果の通知にあわせた利用勧奨や医療機関等への周知も行っている。



運動サポートセンター

交通空白地解消に向けた取り組みは

問 高齢化の進行により高齢者の運転免許証の自返納数の増加が予想される。コミュニティバスの早期運行に対する考えは。

答 運行に向けた検討を東部地区で継続するほか、30年度には大塚地区など3地区で説明会を開催した。今後の協議次第ではあるが見込みのついた地域で31年度中の運行ができるよう、予算措置を含めた準備を進めていきたい。

来本健作（無党派）

市役所内のハラスメントの実態と対策は

問 庁外部署を含めた相談件数、内容は。

答 平成25年度から30年度までに7件の相談があった。全てパワハラに関する内容で、うち5件が庁外部署での案件だった。

問 相談体制と対応策について伺う。

答 24年1月からは、男女各1名の職員相談員を選任し、29年7月からは弁護士資格を持つ外部相談員も設け、相談しやすい制度



に見直しを進めている。

相談があると、相談員と人事課長で事実関係を調査し、職場の改善、職員への指導等を行う。また、必要に応じてハラスメント苦情処理委員会が調査し、対応措置が協議され、その結果に基づく処分も検討される。

問 どのような防止策が行われているか。

答 管理職に対して研修を実施し、チェックノートを配布している。また、相談制度を定期的に周知し、防止に努めている。

柴田安彦（無党派）

公共施設の今後は

問 公共施設白書での公共施設の維持更新にかかる将来費用の試算で、市民病院の建て替え費用は約102億円だが、現市民病院の建設費用は約205億円である。実際にかかった費用と比較して約半額であり、現実的な算定数値にすぎないか。

答 建て替え費用の単価は、どの施設も一律に1㎡あたり30万円としているが、今の規模を維持しないという方針ではない。現実的な数字でないことは承知しているが、建て替え時の経済状況等により変わるので、厳密な積算は意味がない。

問 公共施設マネジメント実施計画の見直しの際に、それぞれの施設に適した単価を使用して、再計算をすべきではないか。

答 実施計画では、社会状況や経済状況の変化に対応した計画の見直しを5年ごとに行うことになっており、その際には、見直し

